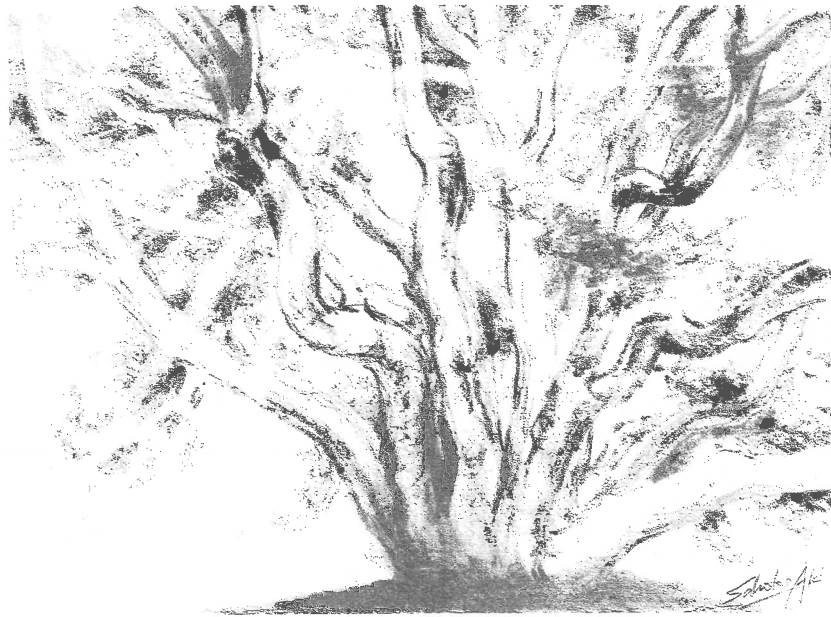


吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28,106 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7E5s5k5k/ss5k5k.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845



目次

コラム(年頭所感) 会長・小田 忠文	2頁
大木調査開始 生きもの委員会	3頁
「吹田まち案内人」いよいよスタート まちなみ委員会	4~5頁
少し早い紅葉を楽しむ(南千里コース) 岡崎 強一	6頁
新しい吹田、古いまちなみ(旧吹田村コース) 大越 好子	7頁
吹田くわい講座(第一回) 岡本 紀夫	8頁
化学者による失敗しない黒豆作り 田中 隆三	9頁
フォーラム参加報告 小田 忠文、喜田 久美子	10頁
エコクッキングしています 生活環境委員会	11頁
イオンディライトから寄付、そのほか	12頁

年頭所感

会長・小田忠文

2007年3月、すいた市民環境会議(以下、本会)は満10歳になる。その前に2006年の本会の活動を振り返っておきたい。

本会は通常、四つの委員会で活動している。まず学習研修委員会はジャスコ南千里店と共催で4月に環境バスツアーで大阪府立狭山池博物館などに行き、8月にはエコ・クッキングとエコ・クラフト講座を開催した。

さらに11月からは市内の他団体との共催で会員や一般向けの吹田くわい連続講座をおこない、多くの団体の協力をもらった。このように多くの人々と関わることは本会の理想である。

まちなみ委員会は9月から「あるック吹田」の散策を再開した。「あるック吹田」の理念は「市民のための市内観光」であり、最近と同様のものが市内をはじめ全国各地で見られるようになってきたことは喜ばしいことである。

さらに、まちなみ委員会を主とした本会会員が吹田市立博物館の春季特別展「千里ニュータウン展」に参画したことは、多くの人々と出会い、そして連携の始まりとして特筆すべきできごとであり、今後の発展が期待される。

生活環境委員会も他団体と連携してエコクッキングを実施して好評を得ているが、何と云っても06年のビッグイベントは北千里専門店街や学校関係の方々との協働で古江台中学校に市民共同発電所第一号を設置したことであろう。

「ソーラータウン吹田」の第一歩である。そして、本会が始まって以来はじめて、会員のみならず多くの市民から寄付をいただいた。その中にはガンバ大阪のサポーターも含まれ、2000人以上からの寄付だった。

同時期に万博公園には古江台中学校の100倍規模の太陽光発電装置が設置されたが、関わった市民の数では圧倒的にこちらの方が多かったと自負している。このほか5月からスタートした「アジェンダ21すいた」には生活環境委員会が「CO2ダイエットノート」で全面的に協力している。

生きもの委員会は生活環境委員会と共同で「春を食べよう野草試食会+市民共同発電所見学」を開催し、本会内部の委員会間の連携も進んでいる。6月からは07年に実施する大木調査の準備活動に着手した。その中で複数の株立ちをする大木の新しい計測法を編み出し、本番に備えている。

これらの委員会以外で会報委員会は二ヶ月に一度、この会報紙発行やホームページづくりで頑張っている。また本会の活発な活動を支えているのは、事務局と会計である。おかげで組織の円滑で堅実な運営が継続できている。

このほか本会全体として吹田市青少年野外活動センター再整備事業への提言などもおこなった。

そして1月には吹田市文化のまちづくり推進者として本会が表彰され、11月にはイオンディライト株式会社から日ごろの活動に対し寄付を受けた。ありがたいことだ。

満10歳を迎え、これからも行政、事業者、市民との協働を基本としてよりよい吹田の環境を次世代に引き継ぐために、より多くの人々と共に活動していこうと考えている。

<表紙のことば>

今号より「すいたの大木」シリーズを安芸早穂子さんに描いて頂くことになりました。1回目は10年前の大木調査で、吹田市No1の大木とわかった関西大学構内にある9本立のクスノキで幹周合計は12m、絵では植え込みに隠れて見えないものの根元は1本で幹周は5m近い。

この樹を見ていると神話に出てくるヤマタノオロチをイメージさせてくれるが、安芸さんの絵に描かれた木漏れ日が一層神々しい樹に感じさせる。

生きもの委員会 平 軍二

07/2/25 大木調査開始

生きもの委員会 平 軍二

1. 本調査は2月25日千里南公園で

6月から準備を進めてきた「すいたの大木調査」は、新年度から本調査に入るが、1回目は千里南公園で行います。

この日は参加者が数班に分かれ、班毎に園内の大木を調査するもので、各班ではリーダー、幹周測定係、樹木位置測定係、樹高測定係、記録係、写真係などを分担してもらう予定です。調査ということで、難しいと思われるかもしれませんが誰にでもできますので、一緒に大木を楽しんでいただきたいと思います。調査に協力できる方、調査を経験してみたいと思われる方は是非ご参加下さい。

- ・日時：07年2月25日(日)9:00～14:00
- ・調査場所：千里南公園
- ・集合：牛ヶ首池南端(ホテルマーレ側) 午前9時
- ・服装：ハイキングと同じ
- ・持ち物：筆記用具、弁当・水筒
- ・参加費：不要

2. 予備調査(第6回)は1/8万博公園

本調査に入る前の問題点検討のための予備調査を5回実施してきたが、第6回は再度万博公園で行います。万博公園で実施した第4回の結果は右記の通りですが、園内に大木が非常に多く、調査区域が万博公園の半分以下に止まったためです。次回は日本庭園など前回の未調査箇所を歩く予定ですので、大木を愛する方の参加をお待ちしています。

- ・日時：07年1月8日(月祝)9:30～14:00
- ・集合：自然文化園中央口午前9時30分
モノレール万博記念公園駅から徒歩5分
- ・入園料：250円自己負担
- ・持ち物その他：上記本調査と同じ
- ・雨天の場合は中止

1. 2. に参加を希望される方は下記に連絡下さい。平軍二 TEL06-6877-0648、または
Eメール g-hira@nifty.com

3. 11/30万博公園での第4回予備調査結果

日本万国博覧会が終わって37年、跡地が整備された万博公園では、当時、樹齢10年前後の木が植えられたと思われるので、現在の樹齢は50年ほどと推定される。

今回の調査範囲は10年前に7本の大木を確認した区域に相当するが、外来種を中心に大木が非常に増加していて、36本もの大木が見つかった。

クスノキ	7	ソメイヨシノ	2
ケヤキ	6	セコイアメスギ	1
ユーカリ	5	エノキ	1
ヒマラヤスギ	3	ハルニレ	1
プラタナス	3	アキニレ	1
カロリナポプラ	2	ラクウショウ	1
メタセコイア	2	アラカシ	1

今回は全面積の半分以下しか見ていないので、今後万博公園全域を調査すると、100本前後の大木が確認されることが予想される。

12/10 植物観察会結果

観察地：桃山台～春日

初冬は春の野草の冬越し対策を観察する季節、ロゼットはハルジオン・ヒメジョオン・オオアレチノギク・ノゲシ・オニノゲシ・コウゾリナ・タンポポSP・タネツケバナ・コオニタビラコ・オニタビラコ・ウラジロチチコグサ・チチコグサ・ハハコグサなど20種ほど確認し、既に咲いている花も多かった。

また春日の田んぼ周辺ではツリガネニンジン・スズメウリなど吹田の貴重種を観察することができた。(06.12.15記)



真っ白なスズメウリの実

「吹田まち案内人」いよいよスタート

～ ガイドと歩けばこのまちが好きになる ～

吹田歴史文化まちづくり協会

理事 岡村昇二(まちなみ委員会副委員長)

吹田歴史文化まちづくり協会(愛称:浜屋敷)の事業として、ボランティアによるガイド組織「吹田まち案内人」がようやく開業です。今年6月以降、公募したガイド希望者を対象に研修会を重ね、ガイドとしての基本的課程を20名ほどが修了しました。

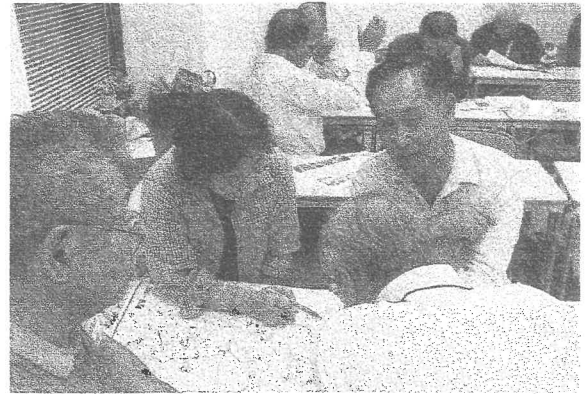
私がこの制度の立ち上げを思い立ったのは、市民の皆さんがもっと「吹田」を知って欲しいと思ったからです。これまでに、すいた市民環境会議の「あろく吹田/観光マップ」と「ぶらっと吹田/花と緑、水めぐる遊歩道」の二つの地図作成に参加し、この地図に沿った、一般募集のウォーキングのお世話をしてきました。

案内するたびに、参加の市民の皆さんから「吹田にこんな所があるとは知らなかった」と言う言葉をよく聞きました。

吹田には大きな庄屋屋敷や古い町並み、自然の緑地や大きな公園などがあります。また、近代都市と古い歴史の村が隣りあっています。

ガイドと歩けば興味のある所が吹田にはいっぱいあります。

この研修には、すいた市民環境会議から講師として副会長・高畠耕一郎、まちなみ委員長・松岡要三、それと私の3名が参加しました。



まち案内人講座でワークショップ

そのほかには、大阪人間科学大学の片寄教授による「吹田・たんけん・はっけん・ほっとけん」など合計9回の講座がありました。

我がまち・吹田を知れば知るほど、このまちが好きになるでしょう。自分の住むまちが好きというのは幸せなことではありませんか。

それで、浜屋敷では市内の多くの団体からの「吹田まち案内人」ガイド依頼をお待ちしています。市内の公民館、高齢クラブ、子供会、趣味の会等の皆さん、ぜひ利用して下さい。

ガイド依頼先:

吹田歴史文化まちづくり協会(浜屋敷)

電話 06-4860-9731

<<講師からのメッセージ>>

『吹田の自然』

高畠耕一郎

吹田市には見るべき自然などは、残っていないかと思っている方も多いと思います。しかし、自然は力強く、形態も様々です。キツネもタヌキもいたし、ヒメボタルは乱舞するほど飛んでいる場所があるのです。さらに、ウツボクサやツリガネニンジン、また、カスミザクラという昔からのサクラも沢山吹田には咲いていますし、里山にしか見られないドングリのなる樹も多く残っています。また、外来種でも吹田になじみ、多くの市民の愛されたものも多くあります。観る目があれば、生き物たちがしぶとく生き抜いている姿が見えてきます。ガイドをしながら身近で見るちょっとした自然に親しんでもらえるようになりたいものです。

『新しい吹田を創る文化施設』

松岡要三

吹田市は千里ニュータウン開発、1970年の大阪万博を契機に大きく変わりました。「操車場とビールのまち」から「文化学術都市吹田」「大学のあるまち吹田」として、新しい吹田を創る文化施設が多くあります。

大阪府は1981年から大阪都市景観建築賞、1990年から大阪みどりの景観賞を設け、新しい都市景観やみどり豊かな都市空間の創成に貢献している施設を表彰しています。吹田市には受賞施設が数多くあります。これらの受賞施設や文化施設を探訪して見ませんか。「いいでしょこのまち」新しい吹田を発見できます。



ぶらっと吹田友の会編集の「花と緑、水めぐる散歩道」(吹田市緑化公園室発行)と
すいた市民環境会議編集の吹田市観光マップ「あろっく吹田」(産業労働室発行)

『古いまちなみと古民家』

岡村昇二

吹田には、山田、岸部、佐井寺等々古い集落、旧家が多く残っています。

伝統的な日本家屋が、堂々と建っているのを見るとき、心が和みます。

また、日本家屋には外見のおおらかさと、内部の使用材料や工作手法の綿密さが見られます。地方ごとの気候や風土、産業により様々な様式があり、見る者を楽しませてくれます。

また木造建築の技術水準は高く、力学にかなった複雑な木組みや、美しい細工、木目を生かした意匠が見られます。

日本建築の主材料である木は、上手に使いえば鉄以上の優れた素材なのです。水に濡らすことが無ければ千年以上の年月に耐えることができます。

民家は時代と共に建築様式が大きく変わるので、時代判定も比較的容易です。屋根の型、建物の型式、材料の違い、装飾の違いなど建物文化は奥深いものです。

吹田市内の浜屋敷と旧西尾家住宅でも、先人の知恵や工夫、素晴らしい技術、美意識などを楽しめます。皆さん研究してみませんか。

まち案内人講座「バスツアー」に参加して

会報委員 佐藤和子

一日かけて廻ってみると、自然の残っている所、無くなっている所、北と南の違いが良く解りました。

古い町並と新しい町並みが入り混じった吹田の広さを再認識し、バラエティーに富んだ面白い街だと、思いました。

普段、何気なく通っていた街が、案内人の説明を聞いて新しい発見ができました。

まち案内人講座

「新しい吹田を創る文化施設」を見学して

まちなみ委員 蓬田理恵子

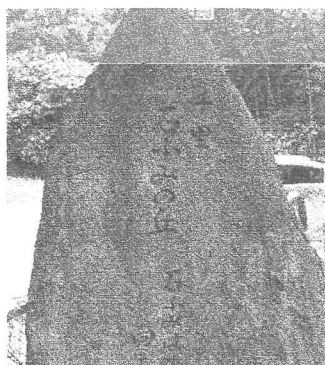
浜屋敷の会議室に 20 数名の受講者が講師の質問に答える形での講義が進んでいました。吹田市の文化施設を拾い出すというワークショップになると俄然、生き生きと熱がはいました。そしてグループ発表、さすが吹田のまちに関心の高い生徒、各地域の特徴ある施設を拾い出し、見事な発表でした。まち案内人のご活躍する日を期待できると感じた見学でした。

『あリック吹田』南千里コース 少し早い紅葉を楽しむ！

2006.11.11 原町 岡崎強一



①知らなかった！ 南千里駅出口の高架歩道西1分、竹見台高層住宅のピロティ



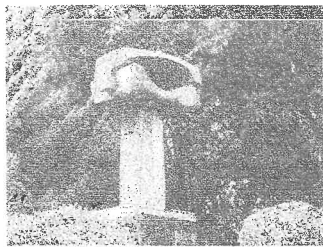
②文化の香り漂う千里南公園
15の歌碑・句碑がある。写真は公園入口の公園名碑の裏面。



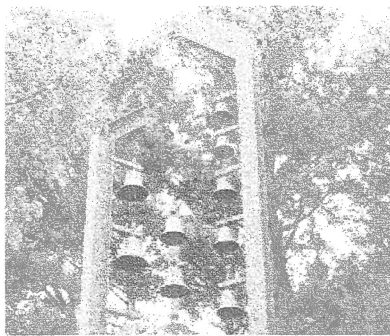
⑩佐竹台にも三色彩道が！



⑨こんなところに、何時出来た！
ぎんなん通り北に新しい遊歩道。



⑧これはなんだ！ 「番人」
作・五十嵐芳三 寄贈・大和銀行
千里ぎんなん通り北の緑地に、何を見張っているのか。



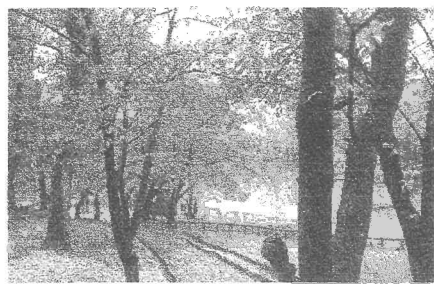
③始めて音色を聞く 穏やかな気持ちになる。10時、12時、15時に響くカリオンの音。



⑪約120万年前アケボノ象がいた
佐竹公園に説明板があります。



⑦紅葉！！ 紅葉！！
ホテル道をぬけると。



④開発から44年 大きく育った樹木、整備された花壇。牛ヶ首池の周辺は散策のメッカ。



⑤高らかに、両手でエレガントな帽子を掲げた美少女「緑の風」
千里高校の東、歩道側面の植栽の中に立つ。



⑥懐かしい紙芝居 ママチャリの荷台は姫螢の舞台、拍子木の合図で始まった。西山田ヒメボタルの会のみなさん有難う。

「あろっく吹田」散策会 旧吹田村コース

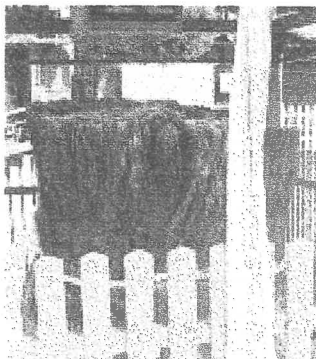
駅前の賑わい・新しい吹田と古いまちなみを楽しみました

2006.10.14 まちなみ委員 大越好子

集合場所になっているさんくす広場はアジアンフェアの会場となっており、まだ準備中の様子でしたが、私たちは平和都市宣言・健康都市宣言の記念モニュメント等を見ながら、スタート。

アーケードも新しくなりきれいになった旭通商店街を歩き、高浜神社の方へ向かいました。神社の前にはアドプトロードがあります。ここは地元自治会が里親になり草花を植えたり樹木の世話をしているところです。ここで新しい発見がありました。

花壇のなかに現代アートが建っていました。何度も来ている所ですが、教えて頂き始めて目にとまりました。立っている鉄の部分は錆びているけれど金属棒でやさしく円を描いている部分の表現は、なんだか微笑みかけてくれているように感じました。



高浜神社の鶴の松

高浜神社の境内には神木「鶴の松」の古株があり、「来てみれば千世もへぬべし高浜の松にむれいる鶴の毛ころも」と後嵯峨上皇が歌に詠んだ老松の名残りだそうです。

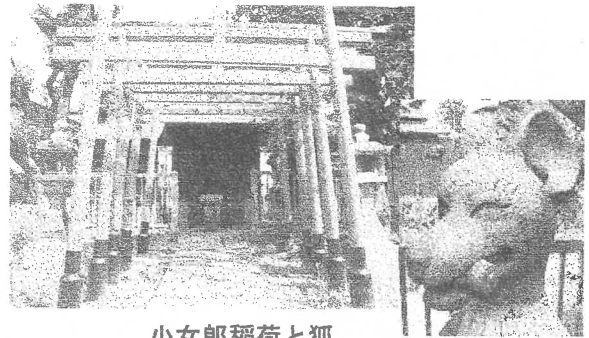
しかし、鶴の足の構造から木の枝にとま

ることはできないので「松に鶴」と云われているが「松にコウノトリ」が正しいそうです。

その後、散策を続けているうち、この吹田の地元で生まれ育った物知りのおじさんに、バッタリ出会いました。そこからは、おじさんのガイドで散策会です。

おじさんは屋根にくわしく古い民家の赤茶けた屋根瓦を見てこれは100年ぐらいたっている瓦だと説明しておられた。大の木神社の樹齢700余年、幹周り7.8mの古株が残っていますが、樹には穴が空いていて子どもが中を通して、遊んでいたことなどよくご存知でした。ここには鎌倉時代に権勢を誇った太政大臣・西園寺公経の別荘「吹田殿の跡」の石標が立っています。

しばらく歩くと小女郎稲荷、ここには民話が伝えられ、狐が娘に化けてお酒を買いに行ったそうです。狐の出入りする穴が稲荷神社の裏側にあります。すぐ傍には昔の風情が残る民家が数軒あって、ほっとする様な気分になりました。



小女郎稲荷と狐

最後に吹田で一番古いお寺、観音寺に寄りました。現在の本堂は建設当時、神埼川に面した方が表だったそうです。この日は、明治時代以来の門の屋根瓦の葺き替え工事が行われていました。ここでも伝統あるものを大切に守ってきておられることを実感しました。

今回は飛び入りおじさんの説明が入ったり、歩くコースも変更になったりと自由な雰囲気のもとても楽しい散策会でした。土曜日で賑わっている浜屋敷で、解散となりました。

「あろっく吹田」散策会 第28回 片山・豊津コース(予告)

メイシアターから泉殿宮、片山公園、大阪ハリスト協会、垂水上池公園を経て阪急豊津駅まで歩きます。大阪ハリスト協会では礼拝堂内部を拝観させていただきます。

- ・日 時：平成19年3月10日(土) 小雨決行
- ・集 合：9時30分 阪急吹田・メイシアター前いづみの広場
- ・解 散：正午頃 阪急豊津駅
- ・参加費：会員400円、非会員500円 定員：25名
- ・申 込：3月7日(水)までに大越へ (TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697)

《吹田くわい》 連続講座の一回目を終って

くわい保存会 岡本紀夫

前号でお知らせした、《吹田くわい講座》が始まりました。

「吹田くわい」が生まれ、育っていた自然環境を、原風景と呼ぶならば、それは一体、どこへいつてしまったのでしょうか。

開発の名のもと、人間の都合が、原風景を壊してきました。文明とはその意味で、恐ろしいもののように思えます。地球温暖化は、そういうものの集積の結果でしょうか。

日本で生まれたこの植物が、絶滅寸前の状態にあったのを、今から21年前（昭和60年＝1985年）ころうじてその命をつなぎ、保存、育成につとめるべく「吹田くわい保存会」が、発足されたのです。

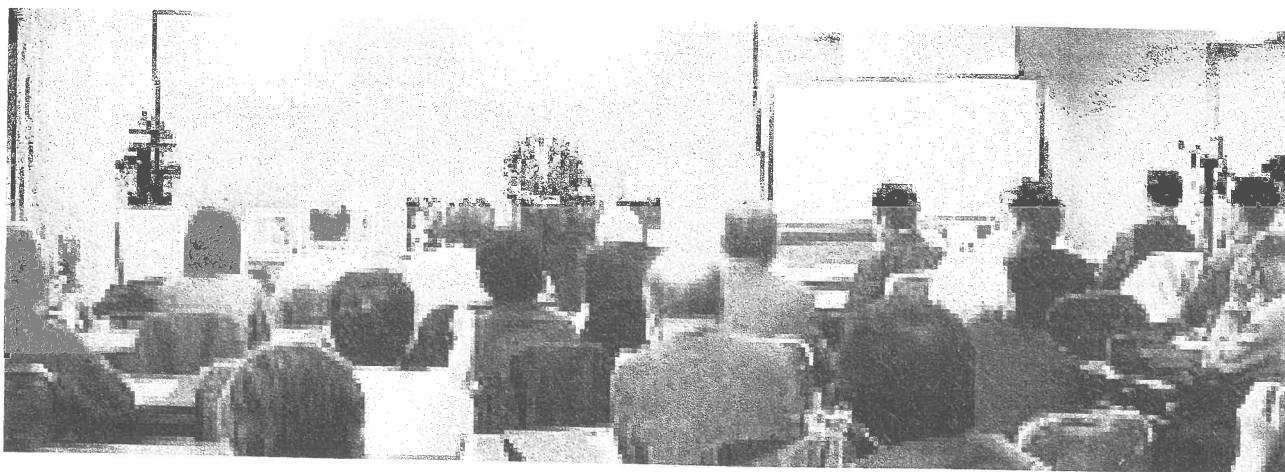
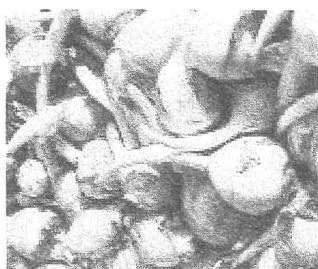
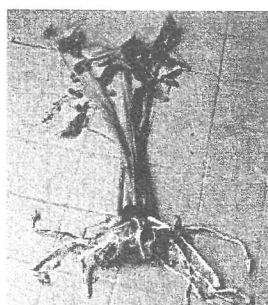
その第一回目の講座が、去る11月25日市民会館で開かれました。この日の講師北村英一氏は、保存会ができた当初から研究、保存に尽力され、現在、保存会の会長をお願いしている方です。

突き当たってきたカベを、一つ一つ乗り越え、その都度発表してこられましたが、今回はそれらを振り返りながら、12項目にわたって、この貴重な植物への取り組みや、今後の展望について熱心に語っていただきました。

想定30人を上回って（42人）用意していた資料が足りず、急きょコピーするような次第でした。会場には、黒ぐわい、吹田くわい、白ぐわいなども展示され、また参加者から、栽培についての試みも報告され、熱気あふれるものを感じました。

この日の北村氏の話は、司会者小田忠文氏のことばをかりれば、『吹田くわいに関して、新書版一冊に値する』ほど、大事な内容でした。

二回目 12月17日(日) 三回目 1月28日(日)



化学者による失敗しない黒豆作り

千里山西 田中隆三

平成18年12月10日(日) 市民会館NPO室

黒豆づくりは難しく失敗が多いとの話題から、師走に入り12月10日に、黒豆づくりで評判の高い加藤先生に「化学者の目で失敗しない黒豆づくり」について、その秘訣を講義していただきました。当日は16名が参加。約2時間の講義で、先生が造って来られた黒豆を試食しながら、主婦の方々からは色々な質問も出て一風変わった講座でした。

豆類のなかでは大豆や落花生は蛋白と脂質が抜きん出て多く、料理方法も炒ることが主で、小豆やそらまめは糖質が多く、煮て食べる傾向がある。この成分の違いが黒豆の調理を厄介にしている。

化学では、揚げる・蒸す・濾(こ)す・切る事はしない。反対に炊事では、蒸留・沈殿させる事はしない。扱う温度は、化学では $-197\sim 1500^{\circ}\text{C}$ 、炊事では $-20\sim 200^{\circ}\text{C}$ の範囲で両者には大きな差がある。

一般に後片付けは皆が嫌うが、化学者は鍋・皿類を洗い、片付けをしないと気が済まない習性がある。(器具に他薬品が付着していると実験結果が不正確になることからの習慣)

主材の黒豆は、北海道産等があるが、粒の大きさ・旨み共に「丹波の黒豆」が抜きん出ており、値段も倍以上高い、元々種類が異なる豆とおもわれる。

材料比は、黒豆：砂糖：水=1：1：4

料理方法は、昔からの伝承によるらしく、料理のレシピで異なり、水炊きと蜜炊きに分かれるようで、水炊きは、アク・重曹のクセを抜くことを重視しているようで、蜜炊きは最初から味汁で煮る方法でどちらとも決め手はない。

しかし水炊きした後で味付けすると、浸透圧で半透膜を通し豆内の水分が出てシワが出来る。先生は蜜炊きを推奨されている。

もっとも大切な事は、豆が浸る量の煮汁で、沸騰させない温度($90\sim 100^{\circ}\text{C}$)を保ち、8時間位“コ・コ・コ” (1~2sec 間隔)煮詰めることである。俗に“びっくり水”と言われるのは沸騰するのを抑えるのに水を差す事らしい。温度調整するにはホットプレート(電気系)が便利である。



講師の大阪大学名誉教授・加藤俊二先生

すべてのレシピに“古釘を入れる”とある。古釘の赤 Fe^{+3} と黒豆の色素が反応し、コロイド状となり水に溶け出なくなる為である。錆びていない釘(Fe^{+0})は水と反応し、水溶性の Fe^{+2} となり、黒色素が溶け出し、茶豆になってしまうので、必ず錆びた釘(鉄)を入れてくださいと。また、重曹を入れるのは豆を柔らかくするためである。

【付録】赤キャベツを使った Sour Kraut 作り方。

赤キャベツを3%の塩で揉み、水分を出し、1週間位放置発酵させると、鮮やかな紅色でちょっとすっぱいサラダが出来る。

発酵には、3~5%の塩が必要で、多いと発酵しない。発酵菌は空気に触れると H_2S が発生するので、水を入れたビニール袋を上に乗せる等、化学者の知恵を披露された。

この Sour Kraut にゆで卵をつけ、暫くするとゆで卵が紫色から青緑色になって、皆びっくり。先生には当然の事、PHの関係でリトマス試験と同じ原理であるとの事。

【付録】石焼芋はなぜ美味しいのか？

60°C 位で澱粉が糊状になり、 80°C 位で糖化酵素が働き甘みが増す、石焼き、焚火でゆっくり焼くのが理にかなっている。電子レンジを使う時は弱でゆっくり加熱するのが秘訣である。

最後に、人工の化学物質は有害との世論があるが、自然物質にも猛毒・有害なものは沢山あり、一概に決め付けないことが大切であると言われた。

出された物を批評して食べる小生にとって、料理の微妙なテクニックは理解出来ないが、主婦の方々が苦労されているのを垣間見たようだ。

交野市 市民活動フォーラム

『市民と行政が協働するまちづくり』

～ フォーラムのパネリストとして参加しました ～

会長 小田忠文



11月26日交野市で市民活動フォーラム「市民と行政が協働するまちづくり」がありました。

第1部で久 隆浩近畿大学工学部教授の「市民と市との協働について」と題して基調講演があり、中田仁公・交野市長の挨拶のあと、第2部のパネルディスカッションには、吹田市から佐竹台地区連合自治会長とすいた市民環境会議会長として私がパネリストとして出演しました。

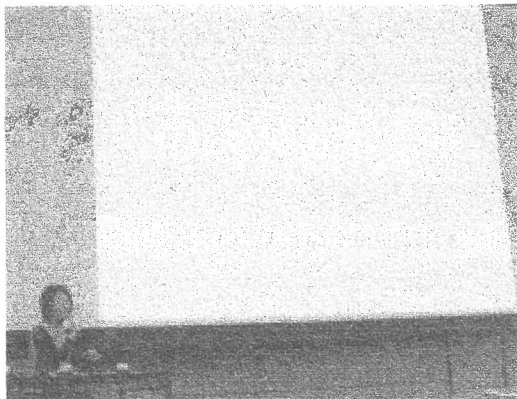
市民共同発電所の事例を示しながら、吹田市で環境会議がやってきた行政との協働の歴史を発表しました。

きんき環境館・滋賀県・滋賀県地球温暖化防止推進センター主催

『パートナーシップフォーラム 2006 in 滋賀』

～リレートークで市民共同発電所設置の活動を報告しました～

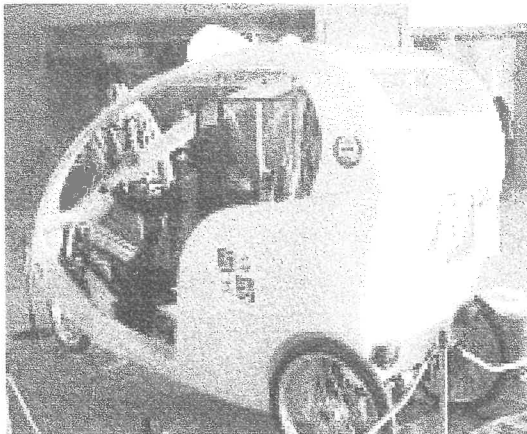
副会長 喜田久美子



12月3日、琵琶湖博物館で、きんき環境館主催のフォーラムで、すいた市民環境会議を代表して『府民共同発電での地域ぐるみの協働』との題で市民共同発電所設置活動の報告をしました。

全国で市民共同発電所の活動は多くなっていますが、特に市民・ディオス北千里商店会・学校・地域との協働で設置したことが高く評価されています。

この日はリレートークということで当会のほかに、八幡市環境市民ネットの「協働で取り組む環境教育」、(特)愛のまちエコ倶楽部の「みんなで菜の花エコプロジェクト!」、(特)五環生活の「ベロタクシーからつながる五環生活のススメ」の報告がありました。



会場のロビーに展示されていたベロタクシー

- ・ベロタクシーは1997年ドイツで「環境にやさしい交通」という概念で開発された自転車のタクシーです。
- ・ベロ (VERO) はラテン語で“自転車”を意味します。
- ・やがて、草津駅周辺でも見られるようになるでしょう。
- ・運賃と車体に広告を掲載して運営していくとのこと。



環境のこと考えて、おいしく、楽しく **エコ・クッキング**しています！

★11月28日(火)

CO₂ダイエット情報交換会(アジェンダ21すいた・エネルギー部会主催)でエコ・クッキングを体験していただきました。「すいた市民環境会議」と「エコアクション」のメンバーがサポート。関大生も加わって活発な講座でした。メニューは保温調理によるカレーと旬の野菜サラダ。

旬の野菜(大根・水菜)はほとんど路地栽培なので、温室栽培のように石油の使用が少ないため省エネルギーなのです。また、安全な食や水の出し方、汚さない方法についても考えました。

*「年を取るとどうしても冷暖房を使うことが多くなる」との話が出ました。老齢になると気温の変化に対する反応が遅くなりがち。体感に頼らず温度計を見て判断することも大切です。ガマンしすぎて病気になるようにお気をつけください。家庭のCO₂ダイエット・省エネの極意は「無理をしないで、無駄を省く」です！



★12月9日(土) 北千里地区公民館講座



メニューは煮豚(保温調理)・スープ(煮豚の煮汁利用)・旬のサラダ(路地栽培野菜)・菜飯(サラダ用の大根の葉利用)・コーヒー(有機栽培・フェアトレード)でした。今回の参加者はベテランの主婦が多く、調理にはいと手慣れたもの。アツという間に豚肉の入った鍋がタオルに包まれました。

保温時間中はCO₂ダイエット冊子を利用して温暖化防止のための生活見直しにチャレンジ。食材を無駄なく利用し、おいしくいただきました。「またやって下さい」との参加者の声がうれしい講座でした。

<訃報>

11月11日 菅原節子さんがご逝去されました。

当会発足当時から、理事、監事などを歴任。本当にご苦労さまでした。

遠くからでも手を振って、いつもにこやかな笑顔がありました。

「それはだめです」と、毅然たるお姿もありました。

衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

イオンディライト株式会社から寄付を受けました

事務局 中村小夜子

すいた市民環境会議の日ごろの活動が評価され、イオンディライト株式会社から 10 万円の寄付を受けました。贈呈式は 11 月 17 日でした。感謝です。

9 月 1 日に「(株) ジャパンメンテナンスセレス」と「(株) イオンテクノサービス」が合併し「イオンディライト株式会社」となったのを機会に同社はシンボルキャラクターを策定し、そのキャラクター名を公募しました。

11 月 17 日に当選者の発表と記念式典が行われました。キャラクターの名前は『グッジョくん』と決まりました。ネーミングの由来は「Good Job! = さすが、いい仕事してるね」で茨城県の木村さんのご応募でした。

その当選者が府内で環境の保全活動をしている 5 団体に受賞した同額を寄付する形です。

■ 寄付先団体名 (順不同) : 渥美連合振興町会、此花区青年団体連合会、櫻井川を清流にする会、すいた市民環境会議、泉南の里山を大切に作る会。



<編集後記>

◎『2007年が明けました。おめでとうございます。』

昨年一所懸命、誌の編集に努力してきた。・・・が、満足いただけることはなかったかと委員一同反省。

◎今年では当会発足、満 10 周年記念の節にあたります。

イベントなどが行事にくみ込まれて多忙な年になりそうだ。

◎世の中はうそとうそが重なり合って、まことしやかにつくろわれている。住友生命が募集した、創作四字熟語のなかにそれをみた。「美治麗国」をうたう晋三内閣の「晋総開店」である。

◎自然はうそをつかない。人間のだましとうそのなかで、北極の氷はなくなり、水も風も空気も、人間生活にだましとうその部分だけでもどってくる。

◎晴れやかな 10 周年の為に、一段の努力をしていこうと思う。

◎新しい出発にあたり、取材・編集を手伝ってくださる方を求めています。

(編集長)

<お詫びと訂正>

☆47 号 9 頁 楽しい秋を見つけよう (津雲台 彦坂利久) の記事で誤りがありました。

お詫びし訂正します。

①本文 6 行目 「榎原元市長の歌です。」 → 「榎原元市長の書です。」

②白蓮の歌の説明 「愛を受ける人はでれであろうか。」 → 「愛を受ける人はだれであろうか。」